

経営比較分析表（平成30年度決算）

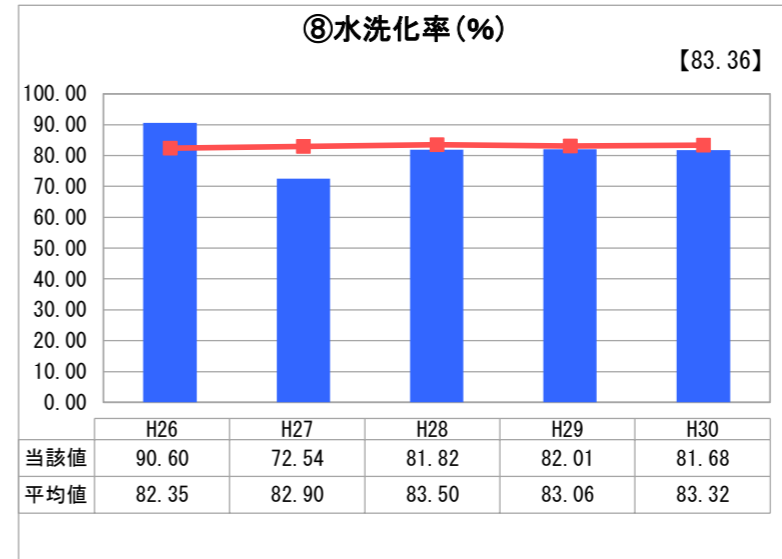
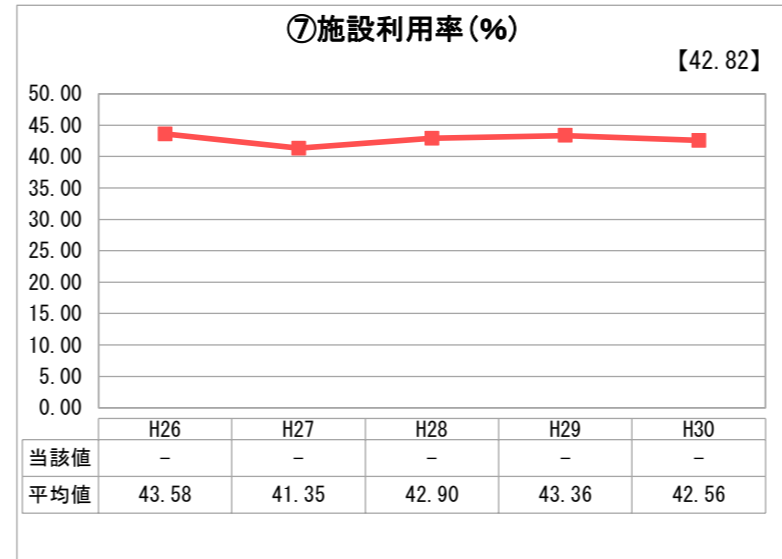
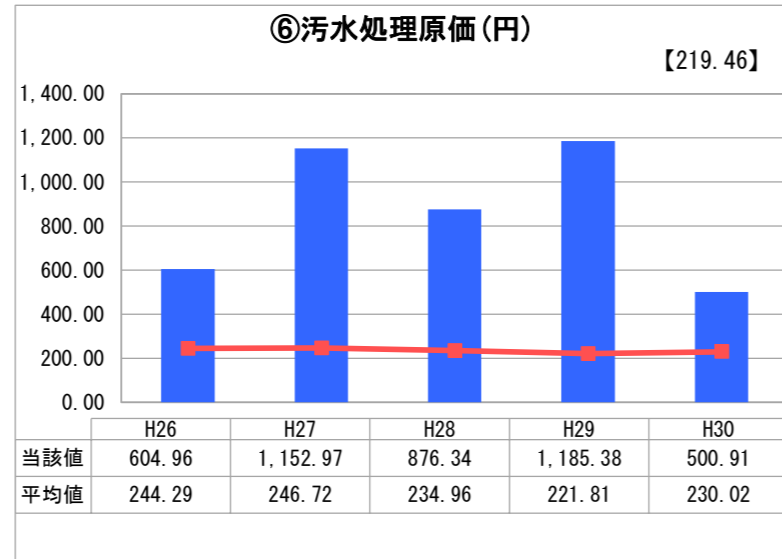
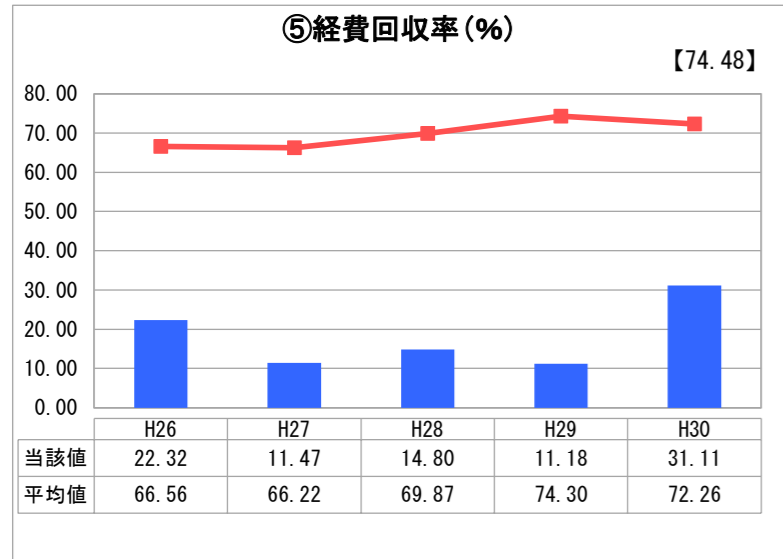
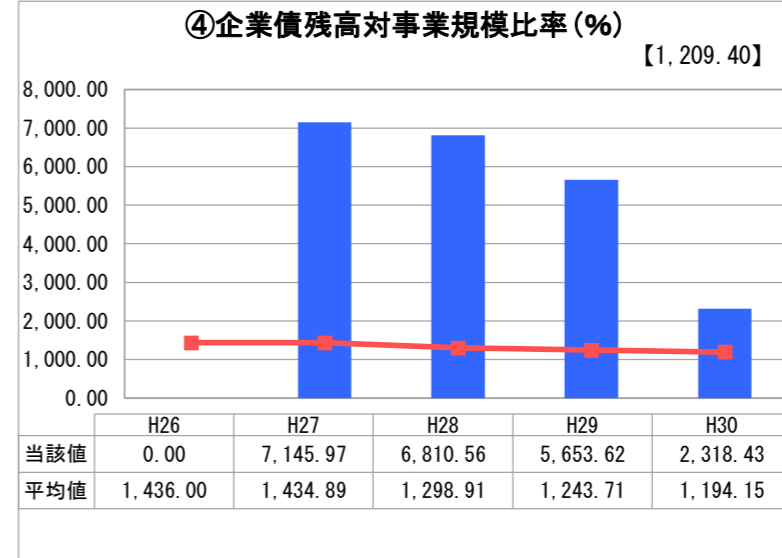
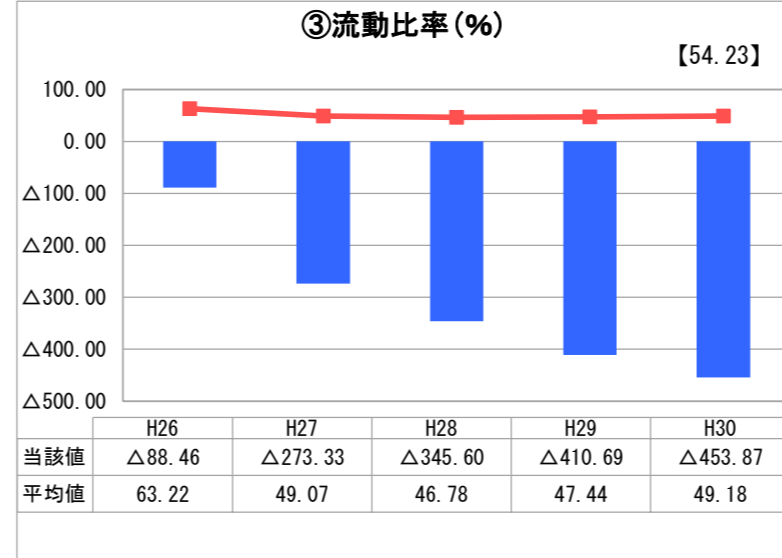
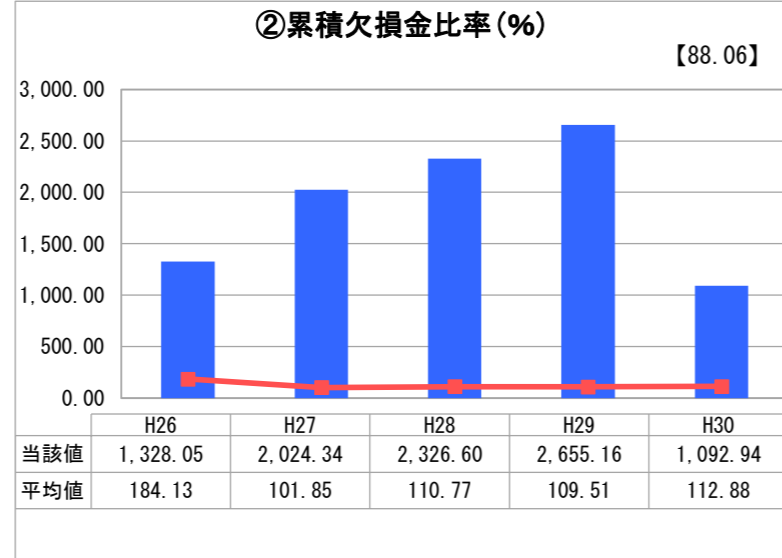
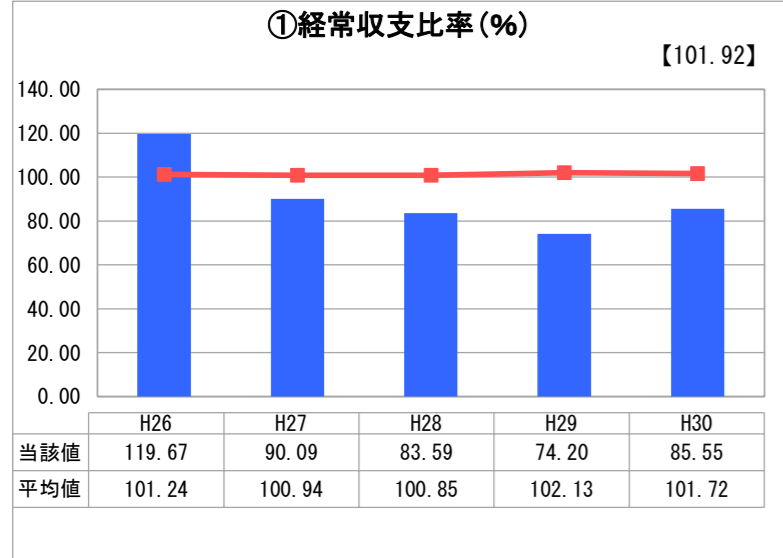
兵庫県 川西市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	36.11	0.08	80.00	2,106

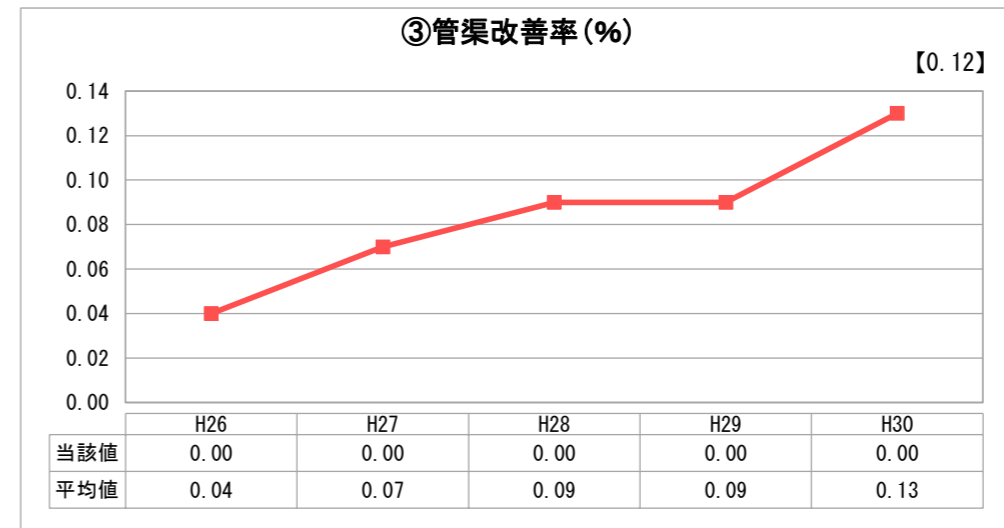
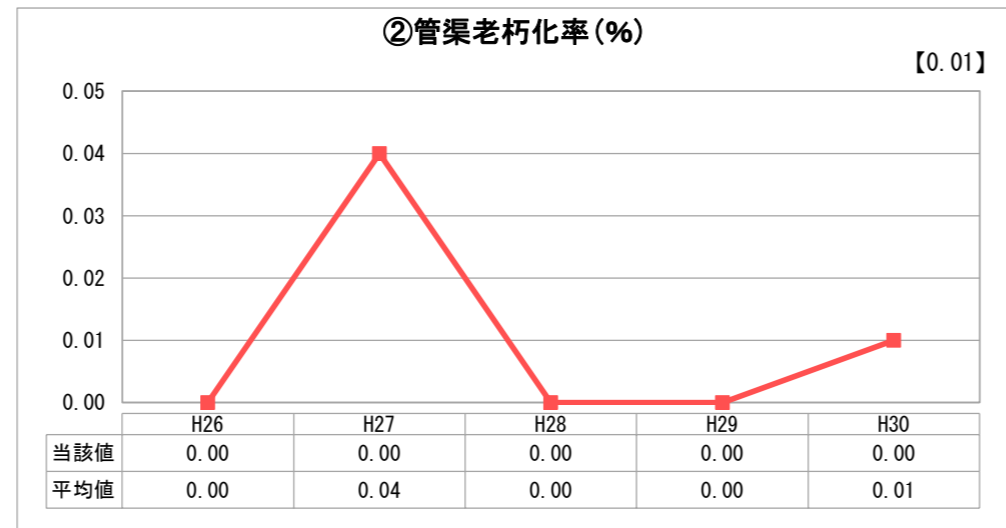
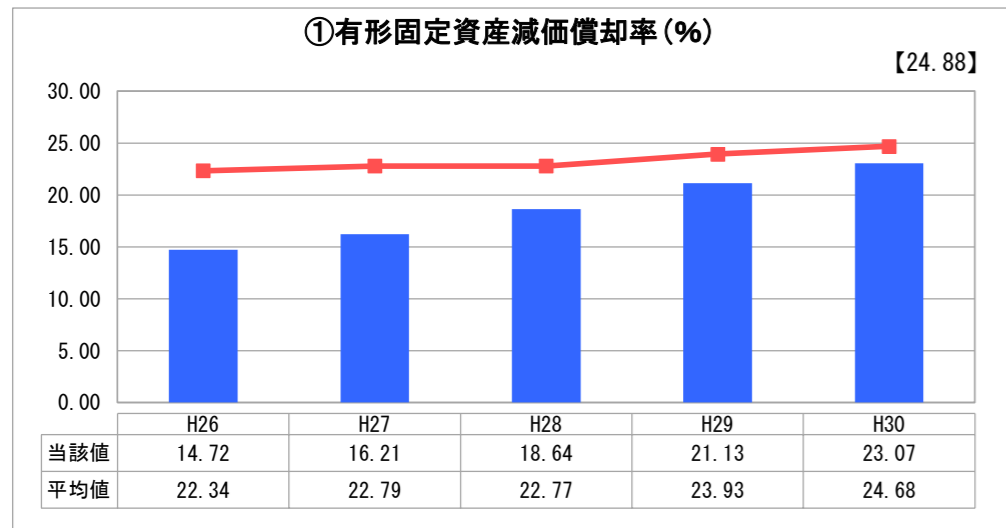
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
158,003	53.44	2,956.64
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
131	0.24	545.83

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

特定環境保全公共下水道事業とは、市街地及びその周辺の地域以外の区域において実施されるものです。
川西市の平成30年度の処理区域面積は24haとなっている一方で、水洗化人口は131人とどまっております。構造的に不採算となる経営実態となっております。
しかし、公共下水道事業と特定環境保全公共下水道事業は、同じ料金体系で運営を行っていることから、経営の健全性・効率性についても、公共下水道事業と一体で検証していきます。

2. 老朽化の状況について

現状の管渠老朽化率は0%ですが、将来訪れる耐用年数の超過を認識しており、ストックマネジメント手法を導入し、中長期的な将来予測を行い、施設の維持管理と更新工事を実施していきます。

全体総括

特定環境保全公共下水道事業は、衛生的な生活環境の向上や公共用水域の水質保全を目的に行っていますが、新たに管渠を整備するには、地理的要因等により整備に係る費用が増大するため、今後の整備については、将来の需要見込や費用対効果も検証して事業を行っていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。